

令和6年度 ふるふる長岡京 活動報告

採択事業名：地域発信力向上プロジェクト



①採択事業の概要



1 解決したい地域課題とその背景(事業の目的と課題の把握、公益性)

- 届けたい「まちの情報」が、届けたい人に届いていない
- 市民、子育て世代 : 地域の情報がバラバラにあり、欲しい情報が十分手に入らない
- 市の団体、事業者 : 各々が独自に発信しているが、十分届いていない

①採択事業の概要

2 上記の課題を解決するための申請事業の概要（実行性、公益性、独創性）



- 市民が発信ノウハウを学び、発信を実践する機会を提供する
- 市民主体の「まちの情報」発信を促進する
- 市民活動団体のPR事業

①採択事業の概要

3 事業内容によって到達したい状態や目標（事業の目的と課題の把握）



- 発信の影響で行動する人が増え、市内での交流や消費行動につながる
- 市内の施設利用や、事業者の集客につながる
- シビックプライド（住みたいまち、住み続けたいまち長岡京市）の醸成をはかる
- LINEオープンチャットの活用により、取材先やイベント現場での課題や気づきを参加者間で共有し合える環境をつくる

②今年度の事業報告と今後の見通し

1 実際に実施した事業の内容と参加者数など成果

- 〈長岡京市の魅力を発信する人材の育成を目指した勉強会の開催〉
キックオフミーティングを含め、全5回の勉強会を開催しました。
第3回勉強会では、市民活動サポートセンターと協働し、登録市民団体向けに「Instagram動画制作」勉強会を実施。
第4回勉強会は自主開催に至り「一人ひとりに寄り添った講座」
「次回もぜひ参加したい！」との声をいただきました。

市民団体の活動支援は

長岡京のまちの魅力向上にもつながると考えています
初めての対面開催は、参加者のニーズや反応を
直接知ることができ 大変有意義な機会となりました



ふるふる

ながおかきょう

長岡京

要予約 12/5迄 参加者募集 お待たせしました!
instagram講座ステップ3!! 参加費 無料
「リールを投稿してみよう!」
日時:2024年12月14日
13:30~15:00
場所:市民活動サポートセンター
講師:ふるふる長岡京
参加費:無料
先着15名
本日の目標

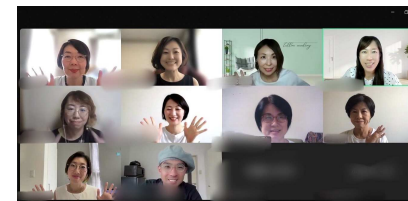
1. 映える写真を撮るコツを学ぼう!
効果的な写真の構図とは?
実際に撮影してみよう!
2. リールを作成して投稿してみよう!
1で撮影した写真を動画にしてみよう!
☆クリスマスモチーフを撮影して
クリスマスリールを作ります

お申込み・お問い合わせはお電話またはメールにて
主催:市民活動サポートセンター TEL:075-963-5505
✉:shiminkatsudou-sc@bambio.jp

②今年度の事業報告と今後の見通し

1 実際に実施した事業の内容と参加者数など成果

◎キックオフMTG 7月6日(土)



会場／オンライン会議システム利用 参加人数／11名（アーカイブ 4名含む）

◎勉強会①8月31日(土)『ショート動画をつくろう』

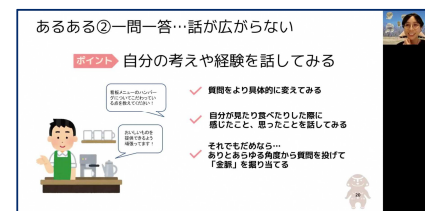


会場／オンライン会議システム利用 参加人数／12名

◎勉強会②10月5日(土)『取材スキルを身につけよう』

会場：オンライン会議システム利用

参加人数／4名（アーカイブ 1名含む）



②今年度の事業報告と今後の見通し

1 実際に実施した事業の内容と参加者数など成果

●勉強会③12月14日(土)

『Instagramを楽しもう ～リールを投稿してみよう～』

会場／市民活動サポートセンター 参加人数／9名



●勉強会④2月24日(月・祝)

『Instagramを楽しもう スイモガさんに学ぶ』

インスタ発信術&実践ワークショップ～

会場／市民活動サポートセンター 参加人数／6名



②今年度の事業報告と今後の見通し

1 実際に実施した事業の内容と参加者数など成果

■ 〈SNSアカウントを通じた市民による発信活動〉

若葉カップやポリテクセンターのものづくり体験、まち活ミーティングから生まれた新たな市民活動団体のイベント紹介などを発信しました。

また「ふるふる長岡京」のメンバーが自身のアカウントで積極的に市の魅力を発信するなど、発信活動のきっかけにもなっていると考えています。



②今年度の事業報告と今後の見通し

3 収入を得る方法＊事業を今後も続けるための収入(継続性)

- 勉強会参加者から参加費徴収
- 勉強会のアーカイブ動画コンテンツ販売収入
- 長岡京市の業務受託による謝金
(まち活MTGレポート・ガラシャ祭リアル投稿PR)



②今年度の事業報告と今後の見通し



4 次年度以降の事業の展開（継続性）

- 来年度も市民活動サポートセンターとの連携を図りつつ、様々な市民活動団体とのつながりを深め、発信活動の支援をしてきたいです
- 参加者アンケート等からニーズを聞き取り、声に応えていきたいと考えています
- SNSアカウントの発信にも力を入れ、信頼と共感を得ていきたいです